
2001年度 日本マレーシア研究会 (JAMS) 関西例会のお知らせ

下記の要領で JAMS 関西例会を行います。

今回は 3 人の話題提供者をお招きし、さまざまな視点からマレーシアの民族・国民・国家について議論を深めたいと考えております。

JAMS 会員の方、非会員の方を問わず、ぜひご参加ください。

「マレーシアの民族・国民・国家をどう捉えるか」

日時： 10月20日(土) 13:30~18:00

会場： 京都大学教育学部 3階320教室

【会場への行き方】

京都市バス 206番・201番・31番・65番・17番にて「百万遍」下車、南に下る。または「京大正門前」下車、北に上がる(17番以外)。

教育学部は京大西部生協(ルネ)の向かい側の西門より入り、総合博物館の裏手(東)の灰色の建物です。坂を登ると見える西口からエレベータで3階に上がってください。当日は土曜日なので東口は開きません。エレベータを降りてすぐ左前方の部屋です。

【プログラム】

13:30~13:40 〈あいさつ〉

13:40~15:00 〈話題1〉河野元子(京都大学大学院)

「マレーシアにおける水産資源利用とエスニック・リレーション
マレー半島トレンガヌの干し魚利用をめぐる」(仮題)

15:10~16:30 〈話題2〉祖田亮次(広島大学)

「農村開発をめぐるサラワク・イバンの人口流動」

16:40~18:00 〈話題3〉杉本均(京都大学)

「ビジョンスクール(統合学校)プロジェクトの実践と問題点」

【お問い合わせ先】

左右田直規(国立民族学博物館 地域研究企画交流センター)

なお、会場に関する問い合わせ、ならびに当日のお問い合わせは、
京都大学教育学部 杉本均研究室

をお願いいたします。

【報告の概要】

〈話題 1〉

河野元子 「マレーシアにおける水産資源利用とエスニック・リレーション
マレー半島トレンガヌの干し魚利用をめぐる」(仮題)

本報告では、ごく日常的な食べ物である干し魚の利用に着目し、それをめぐる主に英領マラヤの民族内および民族間の関係について分析考察する。また、第二次世界大戦後の社会変化に伴う利用の変化をマレーシアの文脈のなかで仮説的に提示する。

米を主食とするアジアにおいて、干し魚は米と相性の良い蛋白源として伝統的に食されてきた。マレー半島においては、20世紀はじめ、錫鉱山、ゴムプランテーションのブームに伴ない移入した海外労働者の安価な蛋白源として、内陸部またスマトラ、ジャワへさらにビルマへと輸出された。この生産から流通、消費にはさまざまな個人や集団が関わる。植民地政府、華人ネットワークなどの社会的要因、運輸、漁撈などの技術的要因と連動しつつ形成された干し魚の利用をめぐる社会関係を検討する。さらに生活に密着したモノに着目することで、より具体的、可視的な民族関係像を明らかにするための可能性を考える。

〈話題 2〉

祖田亮次 「農村開発をめぐるサラワク・イバンの人口流動」

サラワクでは、多くの大規模開発と同時に、政府主導による村落単位の小規模開発も盛んに行われており、イバンをはじめとする先住民の政府援助依存体質はしばしば批判対象となっている。インフラ整備を中心とするこれらの農村開発は、地盤固めを目的とする地元与党議員によって各所に配分される仕組みになっているが、受動的に見えるイバンも、こうした機会を積極的に利用することを心得ている。

報告では、とくに選挙に関わるイバンの人口流動に焦点をあて、非ムスリムとしてのイバンの生活戦略をサラワクの開発政治との関係で考察する。

〈話題 3〉

杉本 均 「ビジョンスクール(統合学校)プロジェクトの実践と問題点」

32年ぶりの惨事とも言われた2001年3月のペタリンジャヤにおける騒乱の原因は、またしても教育問題であった。ダンマンサラ華語小学校の移転統合問題に起因するこの事件は、政府の民族言語別小学校の緩やかな統合計画であるビジョンスクールプロジェクトの推進が容易なものでないことを意味している。華語小学校・タミル語小学校を、学校管理システムと教授言語を現状維持したまま物理的な施設や一部教員のマンパワーを共有しようというこの計画は、マレーシア教育制度の最大の特徴である母語小学校の存立を危うくし、これらを民族的文化・アイデンティティ育成の最後の砦と考えるマイノリティからの猛烈な反対をあびることになった。しかしこのプロジェクトの背景、理念や実践などについて、政治的思惑や民族的感情が優先されるあまり、冷静な判断や教育学的分析がほとんどおこなわれていないのが現状である。本発表では、すでに80年代から実践に移されているマレー半島の2つのビジョンスクールの現状と動向を検討し、昨今のダンマンサラなどの新規プロジェクトとの関係について考察したい。